

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	フィールド・スタディⅢ（Field Study Ⅲ）		
ナンバリングコード	E31414	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／応用レベル 地域マネジメント
単位数	4	配当学年／開講期	3 年／ 通年
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E048201	クラス名	地域マネジメント
担当教員名	今西 衛、本村 裕之、山城 興介		
履修上の注意、 履修条件	履修に当たってはガイダンスに出席すること。ガイダンスに出席しない学生の履修は認められません。 まちづくりマーケティング演習、フィールド調査との同時履修は、フィールドワークが土日を中心に長時間に及ぶので、特に注意すること。 この講義は地域と協働のプロジェクト型科目であるので単位修得のみが目的でなく、地域貢献をする目的で参加してください。その他詳細は、備考欄を参照。		
教科書	必要に応じて資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	榎並 利博「地域イノベーション成功の本質」、第一法規、2013 寺谷 篤志 ほか「地方創生」から「地域経営」へ」、仕事と暮らしの研究所 、2015 他、詳細は備考欄を参照してください。		
関連科目	地域マネジメントコース必修科目他、詳しくは備考欄を参照すること		

○基本情報		
授業の目的	地域が抱える問題を自ら発見し、問題を解決するために、創造性を発揮し、データとロジックに基づいた科学的論理思考する人材（データサイエンティスト）を育成し、大分をはじめとする、地域を牽引する人材へ成長を目指します。 そのためには、繰り返し積み重ねていくことでより深い理解や関心を育てていくことでつながっていきます。1年次にサービスマーケティングIA、IBをはじめフィールドワークや、ボランティア活動に参加していると思いますが、皆さんの新鮮な感覚や感動をまちづくりに活かすことが大事です。また、社会人・地域人としての自覚を育てていくことに繋げていくことを目的としています。少子高齢社会を見据え、持続可能なまちづくり(SDGs)、さらにまた現場を知ることで、A.I.ではできない創造性や地域特有の課題解決の力を養います。	
授業の概要	本科目では、フィールドにでて、地域がなぜ活性化されていないかについて、社会調査法、まちづくりマーケティング、地域ブランド論、観光ビジネス論などの学問の知識を用いて、より科学的な手法で洗い出し、モデルを構築することで、定量的な分析と、実践活動の融合を図るプログラムを開発する。 フィールドワークです。交通費、合宿費用等実費(2万円程度)が必要です	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー I：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	地域の問題を自身の問題と考えて積極的に取り組むことができる。		15点	15点
【知識・理解】	事前に情報収集を行うことができる。 現地で得た情報にもとづいて、複数の人に確認するなどして、情報を正確に把握できる。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	現地住民や関係者と積極的にコミュニケーションを図り、より多くの情報を集めることができる。 プレゼン報告に際しては、わかりやすく且つ説得的になるよう工夫を凝らすことができる。		15点	15点
【思考・判断・創造】	地域の魅力を発見し、自分の考えとして地域の可能性を表明することができる。他者の報告を注意深く聞き、疑問点を見出すことができる。他者からの指摘に対して適切な受け答えを行うことができる。		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
ステイクホルダーである地域の方々と積極的な議論、提案に基づきます。地域に方が評価くださる主観的な評価と、レポート・発表による客観的な上記の評価基準で評価します。レポート、発表については、返却後、手直しを地域の方も納得できる、課題解決につながる提案へ作り上げていくことが評価につながります。 Sレベル： 議論を超えて、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Aレベル： 内容を踏襲し、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Bレベル： 課題の解決手段はあるが、それを根拠づける説明が少ない。 Cレベル： 課題解決の提案がない

○その他
参考文献 橋本 行史 編著「地方創生の理論と実践 -地域活性化システム論- 」、創生社、2015 デービット・アトキンソン「イギリス人アナリスト国宝を守る」、講談社＋α新書、2014
履修上の注意 わからないことがあれば、その都度、講義時間内、あるいは研究室、メールなどで積極的に質問してください。小さな疑問から大きな関心につながる場合があります。
関連科目 地域マネジメントコース必修科目：社会調査法、まちづくりマーケティング、地域ブランド論、地域イノベーション論、 演習科目：フィールド・スタディIA、IB、II、III、まちづくりマーケティング演習、フィールド調査 講義科目：地域経営論、観光学入門、観光ビジネス論、データ解析A、経済統計A、統計解析B、システム分析論、プログラミング入門、プログラミング言語
授業計画 講義内容については、レポートの採点結果、習熟度に応じて内容を変更する場合があります。
注意事項 正課時間外の活動があります。この活動も評価の対象となります。現場での演習(土、日)があります。アルバイト、部活等の理由での欠席は認められないので、あらかじめ日程が分かっている学生は、履修しないか、規定に基づいて履修中止手続きを行って下さい。 フィールドワークです。交通費、合宿費用等実費(2万円程度)が必要です。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	フィールド・スタディⅢ（Field Study Ⅲ）	授業コード	E048201
	担当教員	今西 衛、本村 裕之、山城 興介		
学修内容				
1. オリエンテーション・テーマの選定				
テーマを設定してください。				
予習	地域を設定し課題をレポートにまとめる			約4時間
復習	振り返りシートを完成させる			約2時間
2. 問題発見				
各自、テーマに沿った問題発見をし、整理をしてください。適宜、発表してもらいます。現場での視察を含みます。				
予習				
復習	振り返りシートを完成させる			約4時間
3. 問題発見				
各自、テーマに沿った問題発見をし、整理をしてください。適宜、発表してもらいます。現場での視察を含みます。				
予習				
復習	振り返りシートを完成させる			約4時間
4. データ収集				
データを収集してください。適宜アンケート調査も実施ます。				
予習				
復習	振り返りシートを完成させる			約4時間
5. データ収集				
データを収集してください。適宜アンケート調査も実施ます。				
予習				
復習	振り返りシートを完成させる			約4時間
6. データ収集・アンケートの作成				
データを収集してください。適宜アンケート調査も実施ます。				
予習				
復習	振り返りシートを完成させる			約4時間
7. データ収集・アンケートの作成				
データを収集してください。適宜アンケート調査も実施ます。				
予習				
復習	振り返りシートを完成させる			約4時間
8. データ収集・アンケートの実施				
データを収集してください。適宜アンケート調査も実施ます。				
予習				
復習	振り返りシートを完成させる			約4時間

○授業計画	科 目 名	フィールド・スタディⅢ（Field Study Ⅲ）	授業コード	E048201
	担当教員	今西 衛、本村 裕之、山城 興介		
学修内容				
9. データの整理				
収集したデータを整理します				
予習				
復習 振り返りシートを完成させる				約4時間
10. データの整理				
収集したデータを整理します				
予習				
復習 振り返りシートを完成させる				約4時間
11. データの整理				
収集したデータを整理します				
予習				
復習 振り返りシートを完成させる				約4時間
12. データの整理				
収集したデータを整理します				
予習				
復習 振り返りシートを完成させる				約4時間
13. データの分析				
データを分析します				
予習				
復習 振り返りシートを完成させる				約4時間
14. データの分析				
データを分析します				
予習				
復習 振り返りシートを完成させる				約4時間
15. データの分析				
データを分析します				
予習				
復習 振り返りシートを完成させる				約4時間
16. データの分析				
データを分析します				
予習				
復習 振り返りシートを完成させる				約4時間

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	フィールド・スタディⅢ（Field Study Ⅲ） 今西 衛、本村 裕之、山城 興介	授業コード	E048201
学修内容				
17. データの分析 データを分析します				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
18. データの分析 データを分析します				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
19. データの分析 データを分析します				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
20. データの分析 データを分析します				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
21. プレゼンテーション、報告書の作成 プレゼンテーションと報告書を作成します。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
22. プレゼンテーション、報告書の作成 プレゼンテーションと報告書を作成します。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
23. プレゼンテーション、報告書の作成 プレゼンテーションと報告書を作成します。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
24. プレゼンテーション、報告書の作成 プレゼンテーションと報告書を作成します。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				

○授業計画	科 目 名 担当教員	フィールド・スタディⅢ（Field Study Ⅲ） 今西 衛、本村 裕之、山城 興介	授業コード	E048201
学修内容				
25. プレゼンテーション、報告書の作成 プレゼンテーションと報告書を作成します。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
26. プレゼンテーション、報告書の作成 プレゼンテーションと報告書を作成します。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
27. プレゼンテーション、報告書の作成 プレゼンテーションと報告書を作成します。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
28. プレゼンテーション、報告書の作成 プレゼンテーションと報告書を作成します。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
29. プレゼンテーション プレゼンテーションしてもらいます。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
30. プレゼンテーション プレゼンテーションしてもらいます。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる				
約4時間				
31. 定期試験 定期試験はありませんが、フィールドワーク、学内外での報告は評価の対象とします。				
予習 復習 振り返りシートを完成させる、報告会での報告				
約8時間				
32.				
予習 復習				